鳥栖北小学校 学校目標「豊かな心をもち 個性に富み たくましく生きる 児童の育成」
－夢ふくらむ鳥栖北小！笑顔であいさつ・笑顔でありがとう－

令和２年度 【コミュニティー・スクール】鳥栖北小学校だより

とうかえで

第９号

令和２年９月１日（火）
鳥栖市立鳥栖北小学校
校長 天野 雄二

鳥栖北小HP https://www.education.saga.jp/hp/tosukita-e/ TEL 0942-83-2296 FAX 0942-83-2709

２学期スタートしました。短い期間でしたが、夏休み中に子どもたちの大きな事故の報告もなく、ほっと胸をなでおろしていると同時に、元気な子どもたちと会うことができて嬉しく思います。

２学期は、たくさんの行事を計画していましたが、新型コロナの第２波が鳥栖市内にも押し寄せてきているため、９月１５日の授業参観を一旦中止し、再度、授業参観の時期を検討させていただきます。コロナ禍の中、状況が変化しておりこのような対応になったこと、また、保護者の皆様が授業参観を楽しみにしておられたと思うと、ほんとうに心苦しいのですがご理解の程よろしくお願いいたします。

☆２学期は「してあげる幸せ」を

２学期の始業式（校内放送で行いました）で「してあげる幸せ」について話をしました。

皆さんには、２学期もいろんな行事や勉強をとおして、毎日「幸せ」に過ごしてほしいと校長先生は思っています。「幸せ」には３種類あります。

１つ目は「してもらう幸せ」です。

例えば、赤ちゃんがご飯を食べさせてもらう、おむつを替えてもらう、抱っこしてもらうなど、お家の人や周りの人から何かをしてもらうと幸せな気持ちになります。これが「してもらう幸せ」です。みなさんにも経験がありますよね。

２つ目は「できる幸せ」です。

赤ちゃんが大きくなって、自分で歩けるようになる、自分で食べられるようになる、つまりいろんなことが自分でできるようなる幸せです。皆さんも自分で何かができるようになった時は、うれしいし、幸せを感じることができるはずです。

そして３つ目です。これが一番大事なことです。

それは「してあげる幸せ」です。人が困っていたら助ける、友達が一人ぼっちでいたら声をかけて一緒に遊ぶ、もし、いじめがあったら、それを止める、止めることができなかったら、先生などの大人の人にそのことを教えるなど、人に対して「何かをしてあげる幸せ」、これが一番の幸せなのです。だれかにいろいろなことをしてあげれば、その人は、笑顔になります。喜んでくれます。その笑顔になったり喜んでいたりする姿を見ることで、人は幸せになります。

ぜひ２学期は、みんなが友達や周りの人に「何かをしてあげること」で「幸せ」を感じられる人に育ってほしいと思います。そして、鳥栖北小学校を笑顔いっぱいの素晴らしい学校にしていきましょう。

☆コミュニティー・スクール

本年度より鳥栖中校区の３校はコミュニティー・スクールに指定されました。コミュニティー・スクールになると「校長が作成する学校運営の基本方針を承認する」つまり、学校目標及び運営方針を地域の代表の皆様（学校運営協議会）で決定することになります。（詳細は学校だより４号をご覧ください）

そうすることで、鳥栖北地区と学校の取組を一致させることができます。そして、鳥栖北地区の子どもたちを地域と学校で心を一つにして育てていくという大きな目的をもつことができます。このコミュニティー・スクールの具体的な取組をこれから、学校だよりで少しずつ紹介していきたいと思います。

学校運営協議会の皆様のご紹介

会　長：	田中秀規	様（宿町区長）
副会長：	松隈武敏	様（鳥栖北まちづくり推進センター長）
コーディネータ：	金子淳志	様（前鳥栖北小学校PTA会長）
委　員：	牛島照久	様（鳥栖北地区体育協会理事長）
委　員：	深川泰彦	様（鳥栖北小学校PTA代表）

☆２学期から本校配属の教職員の紹介

【算数TT担当】 海江田 淑美 先生

大串直実先生が産休に入りましたので、その代わりとして授業していただきます。

【６年生算数等担当】 中山 しのぶ 先生

６年生の授業（主に算数）の少人数指導を行います。中山先生は以前、鳥栖北小にお勤めでした。ご存知の保護者の方もいらっしゃるかもしれません。

【スクールサポートスタッフ】 古賀 みどり 先生

２学期からの新職種SSSとして感染症予防のサポートスタッフとしての勤務となります。

保護者の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。